

ホームドクター

610

実は身近な甲状腺疾患

甲状腺は、首(のどぼとけの下の方)にある臓器で、甲状腺ホルモンを分泌しています。甲状腺ホルモンは人体のさまざまな器官に作用し、新陳代謝を活発にする重要な働きをしています。甲状腺の病気は、甲状腺ホルモンの分泌異常と、甲状腺自体の腫れに分けられます。

甲状腺ホルモンが過剰になると代謝が活発になりすぎ、手の震え、どうき・頻脈、体温上昇、下痢、体重減少などの症状が出ます。バセドウ病や甲状腺炎などで引き起こされます。

逆に甲状腺ホルモンが少なくなると代謝が低下し、むくみ、脱毛、体温低下、便秘、意



越谷市医師会
越谷くすの木内科
☎972-5020
おおはらのりひこ
大原 徳彦

欲の低下などの症状が出ます。よくある原因として橋本病が挙げられます。

ホルモン分泌異常の治療は、飲み薬でホルモンの量を調整するケースが多いです。ただ、バセドウ病などにおいて飲み薬が効かない、あるいは副作用で使用できない場合、放射線治療や手術なども検討されます。最終的にはほとんどの例で病気になる前の状態に戻すことができます。

甲状腺の腫れについて、患者さん自身が気付いて受診されるケースもありますが、一般的には健康診断や首の超音波検査の際に指摘されることが多いです。

腫れは甲状腺全体が腫れるものと一部が腫

れるものに分けられます。

全体的に大きく腫れてしまうものは甲状腺腫と呼び、良性・悪性で言うと良性のものが多いです。超音波検査で経過を見ながら、飲み薬で腫れを抑えたりする治療を行うこともあります。あまりに大きくなり周囲の臓器を圧迫するようなら手術で取ってしまう場合もあります。

甲状腺の一部が腫れてしまう場合、腫瘍(できもの)によることが多く、こちらも良性・悪性で言うと良性が多いですが、悪性の腫瘍、つまりがんも存在します。超音波検査で変化を追いながら、時に細胞を採取して検査し良性・悪性を判定します。悪性と診断されれば手術による治療を行います。

甲状腺の病気は、健診・ふだんの診察の際にホルモンの測定や首の超音波検査などをする機会が少なく、発見に至らないケースが多いだけで決して少なくはない病気です。何か気になる症状がございましたら掛かりつけの先生に相談してみてください。



相談

🍷栄養士にきく! 食生活なんでも相談

▶日時: 10月13日(木)、9:00~12:00(ほかの日時も事前予約制で随時相談を受け付けます)

▶対象: 市内在住の方3人

▶申込み: 電話で申し込み

令和4年度第1回自死遺族相談

▶日時: 9月16日(金)、10:30から・13:00から・14:30から(各回1組)

▶会場: こころの健康支援室

▶対象: 市内在住・在勤で、自死でご家族等を亡くされた方

▶参加費: 無料

▶持ち物: 筆記用具

▶申込み: 9月14日(水)までに電話で下記へ

☎こころの健康支援室(第三庁舎1階)☎963-9214



健(検)診

**9月は「がん征圧月間」です。
がん検診を受けましょう。**

🦷歯科健診・相談~歯つらつ! お口の健康~

▶日時: 9月28日(水)、13:30~15:00

▶内容: 歯科健診・相談。治療は行いません

▶定員: 20人

▶申込み: 電話または右記の二次元コードから電子申請で申し込み



🦷令和4年度歯周病検診~全身の健康はお口から~

▶期間: 令和5年2月15日(水)まで

▶会場: 実施歯科医療機関

▶内容: 検診・指導。治療は行いません

▶対象: 4年4月1日~5年3月31日に35歳・40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳になる方。対象の方には受診券を送付しています

▶費用: 500円

▶申込み: 事前に電話で実施歯科医療機関へ。実施歯科医療機関はこしがや保健ガイド、市ホームページ、受診券をご覧ください

愛の献血

▶時間: ▷全血献血...10:00~17:30 ▷成分献血...10:00~16:30

▶会場: イオンレイクタウン^{モリ}1階

▶持ち物: 氏名・生年月日・顔写真が確認できる本人確認書類(初回)、献血カード(2回目以降)

▶申込み: 電話で献血予約専用フリーダイヤル

☎0120-255-489へ(9:00~17:00。月曜~金曜)

日)。献血Web会員の方は、右記の二次元コードから申し込みできます



☎越谷レイクタウン献血ルーム☎987-3737(10:00~17:30)



薬の相談日

ふだん、服用している薬について分からないことや飲み合わせ等、疑問に思っていることを薬剤師に直接相談することができます。

10/4(火)、13:00~15:00

開催日の1週間前までに電話で下記へ

☎越谷市薬剤師会事務局(東越谷10-31保健センター3階)☎960-4100

健康情報コラム

入れ歯と防災

ここ最近ではコロナ禍でめっきり人とお会いする機会が減ってしまっていますね。マスクの着用なり検温なりふだんの生活においてとても煩わしく感じていたのが、2年以上も習慣としているとそれが当たり前になってくるものなのかなと。面倒くさく感じなくなって、マスクが顔の一部になっている方も多いのではないのでしょうか。

入れ歯も初めて装着する方のお話を伺うと、とにかく最初は違和感の塊でしかなく煩わしいし、慣れないし痛いし…。幾度か調整はしたもののもちろん、自分の歯ではないことは理解していかむことはできるけど…。これが義歯、入れ歯なのかとのご意見が専らです。最初から食べられて痛くなく違和感もない、というのが歯科医師としての目標なのであり理想なのです。お一人お一人のかみ方や骨の状態、歯を支えている組織の状態がまちまちなので皆様に合った義歯を腐心して設計、作成しています。ところが現実にはなかなか一度にうまくいくとは限りません。

やはり自分自身の歯が一番だよ、なんてことを皆様おっしゃられます。昨今では地震や水害などいつ何時に何が起るか分からない時代になってしまいました。地震などですぐに逃げ出さなければならないような事象もあるでしょう。そのときに歯や入れ歯のことまでは気に留める暇がないでしょう。避難先で食事も温かいごはんはおそらくないでしょうから、非常食ともなると固い固形物が想像されます。歯がしっかりしていなかったり入れ歯がないと満足に栄養補給ができなくなってくるかも。病気の方やお体の自由が利かない方だっているでしょう。避難なされるとご病気の方が最優先なのです。ですからふだんから歯や入れ歯の管理は重要になってくるのではと考えています。私たち越谷市歯科医師会会員はこのような事態まで想定してふだんからの診療に取り組んでいます。どうぞお気軽にご相談ください。

越谷市歯科医師会

歯医者^{もり}の杜^{としみち} 森 俊道

振り込め詐欺などに注意!!

不審な電話を受けたら一人で考えず、家族や警察・市役所に相談しましょう